

青森森林管理署	
タイトル	民・国連携による施業集約化についての検討会
実施年月日	平成24年10月4日(木)
実施場所	青森県青森市大字新城字新城山国有林108い1林小班外 青森県青森市内の民有林
参加者	局署：東北森林管理局、青森事務所、青森森林管理署 6名 外部：青森県東青地域県民局、青森市、平内町、蓬田村、 外ヶ浜町、青森県森林組合連合会、森林組合あおもり、 青森県森林整備事業協同組合、 青森県国有林材生産協同組合、署管内林事業体等 17名 計 23名
<p>【取組の目的・概要】</p> <p>民・国連携による施業集約化についての取組を更に進めるため、平成22～23年度に当署管内で「儲かる間伐」として取り組んだ集約化施業の取組について、現地での間伐状況と作業路網の見学と併せて、集約化を行った箇所の間伐の整理分析・結果の説明、今後の取組課題等について検討が行われた。</p>	
<p>【取組の成果】</p> <p>管内の民有林においては、集約化がほとんど進んでいない現状にあるが、管内の集約化における失敗や成功のノウハウなど、なかなか得られない成果を披露してもらい、今後の集約化に向けた取組に生かせるものとなった。</p>	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集約化の経費がかかることから補助金等が必要であること。 ・地権者の情報を得るためには市町村の協力が不可欠なこと。 ・部分的な施業集約化のため集材路が長くなり生産性が低くなったことなど。 	
<p>【今後の課題】</p> <p>施業集約化について、市町村、事業体に向けた初めての取組であったが、市町村、事業体の関心が低く参加者が十分集まらなかった。取組の成果を生かせるようさらに県、市町村、関係団体等との連携を密にする必要がある。</p>	



間伐箇所の説明



搬出路の説明



搬出路の状況



間伐風景



全体討議